

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	セラピーファームめぐたま 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	R8年1月7日		R8年1月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	R8年1月7日		R8年1月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	R8年1月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学童や地域の子どもたちと自然に関わり合いながら、障がいの有無に関係なく、同じ空間・同じ時間を共有できるインクルーシブな環境である。	子ども1人ひとりの「できること」「やりたい気持ち」を大切にしている。学童や地域の子どもたちと同じ空間・同じ活動を共有し、自然な関わりが生まれるよう、声かけを工夫している。	現在行っている学童や地域の子どもたちとの交流を大切にしながら、より多様な関わりが生まれるよう、活動内容や関わり方の工夫を継続していく。子ども一人ひとりが安心して参加できるよう、環境調整や声かけについて職員間で共有・振り返りを行い、支援の質の向上を図る。
2	子どもたちが安心感を持って通える場となっている	子ども一人ひとりの状況を把握し、職員間で支援方針を共有することで、一貫した関わりによる安心感のある支援を行っている。	安心して通える環境をさらに充実させるため、職員間で情報の共有・支援の振り返りを継続的に実施する。
3	保護者との信頼関係ができています	保護者との信頼関係構築のため、チームLINEを活用した連絡・情報共有を行っている。活動の様子を写真や動画で共有することで、子どもの様子を具体的に伝え、相互理解に繋がっている。	保護者との連携体制の充実を図るため、チームLINEの連絡・情報共有を継続するとともに、情報内容の整理や質の向上に取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリーという点で難しいところがある。	当事業所は学童と同一の場所であり、また牧場という自然環境の特性上、建物や敷地の構造が平坦ではなく、すべての場所において完全なバリアフリー対応を行うことが難しい状況がある。そのため、利用児童の特性や身体状況によっては、移動や活動の際に配慮が必要となる場面がある。	利用児童の一人ひとりの状況を把握し、無理のない活動内容や動線になるよう事前に環境整備を行っていく。必要に応じて職員の見守りや介助を行い、安全に配慮した支援を実施していく。
2	保護者同士の交流の機会が少ない。	保護者一人ひとりとの個別のやり取りを大切にしている一方で、保護者同士が顔を合わせて交流する機会が限られている状況がある。保護者の負担にならないよう配慮してきたこともあり、交流の場を設ける機会が少なくなっていることが要因と考えている。	今年度は春にお花見を兼ねた交流会、秋に芋煮会を開催することができた。今後も、保護者の負担を配慮しながら無理のない形で保護者同士が繋がる機会づくりを検討していきたい。
3	外部連携や講習会等への参加する機会が少ない状況にある。	日常業務を優先する中で、外部との連携会議や講習会等に参加する時間の確保が難しい。	業務体制を見直し、可能な範囲で外部研修や連携会議への参加機会を確保していく。オンラインで参加できるものなどを採り積極的に受講し、参加した職員が内容を共有することで事業所全体の支援の質の向上に繋げる。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 セラピーファームめぐたま 放課後等デイサービス

公表日 R8年1月23日

利用児童数

12

回収数

8

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	2			室内もあそび外も広く、たくさんスペースがあると思います	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6		2			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	4	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	4				
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	3				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6			2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6			2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	1		3		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7		1			
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	7		1		毎日、その日あったことなど伝えてもらい、家庭であったことも伝えるようにし、共通理解していると思います	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1	1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1	1			
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6			1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	6	1		1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	7			2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1		3	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	2	1		5	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	6			2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1			
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8				ルーティン化しているので、安心して 通っているようです
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	2			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		セラピーファームめぐたま 放課後等デイサービス				公表日	R8年1月23日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	1		放デイ用のクールダウンの部屋は元給食室となっているので什器など固い場所があり安全とは言えない	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	1			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	2			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1				